

京都華頂大学 3つの方針

京都華頂大学現代家政学部

1 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

現代家政学部では、家族・家庭、地域、社会における生活に関する専門的な知識を修得し、多様な価値観を尊重する豊かな人間性と変化を続ける社会の担い手として貢献できる資質・能力を備えた者に学士(家政学)の学位を授与する。

2 教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)

現代家政学部は、現代家政学科と食物栄養学科の2つの学科を置き、学位授与の方針に定める資質・能力を身に付けるため、各学科の専門教育課程において専門的知識と技術を修得するとともに幅広い視野の下で現代家政学を修めることを目指し、各学科の学位授与の方針に基づいて教育課程を編成する。

3 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

現代家政学部は、学位授与の方針に定める人材を養成するため、高等学校等における学習や経験を通じて、次のような基礎的な知識、思考・判断力、表現力等により主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身に付け、自ら課題を発見し、探求しようとする意欲ある者を受入れるものとし、多様な選抜方法を各学科において適切に実施する。

- (1) 知識・理解
 - ・高等学校等の教育課程を幅広く修得し、各学科の専門分野の修学に必要な基礎的知識を理解している。
- (2) 思考・判断
 - ・生活の上での問題について、身に付けた知識・技能を基に、論理的に考え、他者へ客観的に説明しようとすることができる。
- (3) 関心・意欲・態度
 - ・課題等について、関心と意欲を持ち、課題解決に向けて主体的に探求し、最後まで取り組むことができる態度を有している。
- (4) 技能・表現
 - ・他者と積極的に関わることができ、他者に対して自分の考えを口頭・文章等によって表現することができる。